

全学学類・専門学群・総合学域群代表者会議

第 6 回本会議

令和 5 年 12 月 20 日（水）

（議事次第）

議題

議題① 令和 5 年度筑波大学学園祭総括報告書の承認について

議題② 2020 年度入学生向け筑波大学入学式の開催について

タイムテーブル

18:30	開会	
18:30~18:40	出欠確認・資料確認	10min
18:40~19:00	議題①	20min
19:00~19:20	議題②	20min
19:20~19:30	諸連絡	10min
	散会	

出席者

学類等代表者 54 名 （うち遅刻 1 名） 詳細省略

資料一覧

議題① 令和 5 年度筑波大学学園祭総括報告書の承認について

- ・ 議案書P23010-00
- ・ 第 49 回学園祭総括報告書P23010-01
- ・ 目的の評価P23010-02
- ・ 目的の評価補足資料P23010-03
- ・ 第 49 回雙峰祭参加者アンケートP23010-04
- ・ 学園祭における仮説コンセント設置場所P23010-05

参考資料

- ・ 総括報告（修正前）P23010-06
- ・ 総括報告（修正前）に対する質疑の回答P23010-07
- ・ 筑波大学学園祭実行計画書運営要領P23010-08
- ・ 筑波大学学園祭実行計画書運営要領追加提出分P23010-09

議題② 2020 年度入学生向け筑波大学入学式の開催について

- ・ 議案書P23011-00
- ・ 2020 年度入学生向け筑波大学入学式実施計画書P23011-01

以下、議事録

開会

○林 凜太郎（議長）

これから、令和 5 年度第 6 回本会議を開会する。

出欠確認・資料確認

○林 凜太郎（議長）

学類等代表者の出席者は 53 名である。本会議の定足数を満たしたことを確認した。

議題①「令和 5 年度筑波大学学園祭総括報告書の承認について」

○竹之内 美来（学内行事委員会）

「学園祭実行委員会について」第 3 項第 2 号に基づき、資料 01 から 05 までの『第 49 回筑波大学学園祭「雙峰祭」学園祭総括報告書』の承認を求める。

先日、全大会の Teams でお話しした通り、事前に資料を共有して質問・指摘を集めるという方式で行う。事前に集めた質問と回答を資料 07 として添付している。議題となる資料 01 の統括報告書は修正が済んだもので、その原案は資料 06 として添付した。

従って、5 分ほど最終確認の時間を取り、承認を取る形としたい。

質疑応答

○桑原 侑（総合学域群第 1 類）

資料 02「目的の評価」について。「2 項目ごとの評価」に記載のある 2.1 の 4 行目に「趣向を凝らした企画筑波大学内の～」と書いてあるところは、「趣向を凝らした企画と筑波大学の～」という訂正が必要と思われる。

○竹之内 美来（学内行事委員会）

そのように修正するべきと確認したので、修正の上で最終版とする。

○林 凛太郎（議長）

補足する。議案書に「本議案の要旨に反しない字句修正については議長に一任」の語句があるのでそのように対処する。

議決結果

○林 凛太郎（議長）

採決結果は、賛成 51、反対 0、保留 0、棄権 3 であった。 よって、本議案は可決された。

議題②「2020 年度入学生向け筑波大学入学式の開催について」

○林 凛太郎（議長）

（委員長連絡会発案）

この春卒業する 2020 年度入学生（以下 20 生）は、新型コロナウイルスの流行による制限のため対面での入学式を実施できていない。そこで、全代会として入学式を卒業式の前に開催することで、卒業生が経験できていない行事を実現するという試みが委員長連絡会で提案された。

こちらの是非について本会議で語りたい

質疑応答

○青木 喜大（生物学類）

20 生の知り合いから、卒業式の際に入学式の立て看板を立てようという話を聞いている。そのような試みとの兼ね合いはどのように考えているか。

○林 凛太郎（議長）

立て看板を設置することは少なからず手間が発生するため、他の団体で計画されているのであれば任せたいと思う。主催に関わらず入学式の看板が設置されることで、全代会としては需要に対しての供給ができると考えている。

また、現時点で入学式は 2 部制での開催を想定している。第 1 部で通常の入学式と同様の内容を行い、第 2 部は全学にアンケートを取った上で内容を考えていきたい。アンケート意見を集約することによって入学式に対する 20 生の需要と供給が一致すると考える。

○森 望（社会学類）

第 2 部の活動計画にある「学類による新歓活動」とは具体的にはどのような新歓活動を想定しているか。

○林 凜太郎（議長）

詳細は決まっていないが、新歓のビラ配りやパフォーマンスなどを考えている。

○森 望（社会学類）

詳細は議決後に詰めていくという方針か？

○林 凜太郎（議長）

そのつもりである。

○中西 優奈（医学類）

「参加団体」の項目に「学類新歓委員会」との記載がある。学類新歓委員の方に業務を依頼することになるが、学類新歓委員にどのようにこの旨を伝えるのか。実際の 2024 年度の新歓業務との交錯が発生するのではないか。

○林 凜太郎（議長）

詳細については議決後に決めていく。

○桑原 侑（総合学域群第 1 類）

2 点質問がある。

1 点目は、スケジュールと根回しについてである。計画書によると、12/20 に計画書を提出し翌日から作業を始めるようなスケジュールになっていると見受けられるが、学生生活課や支援室にはどこまで話を通してしているのか。

2 点目は、学類新歓委員についてである。20 生入学時に総合学域群は設立されていなかったが、総合学域群は参加しないという認識でよいのか。

○林 凜太郎（議長）

1 点目について、学生生活課・支援室とはランチミーティングを通してコンタクトをとっている。大学会館の確保などについても話が進んでいる。

2 点目については、総合学域群の参加を妨げることはしないため、参加したいと表明すれば参加できるようにする予定である。

○渡辺 颯太（数学類）

例年行われている入学式と卒業式は、大学会館の収容人数だと全員を収容できないこと

から2回に分けて行っている。その一方でこの計画書によると、20生入学式は1回だけで終わることになっている。全学類の20生が参加する想定であるなら、大学会館では全員を収容できないのではないか。

○林 凜太郎（議長）

現時点では交代なしを想定しているが、詰めが足りないとは感じている。アンケートを配布して全学に伺いを立てる際に、参加の意思を合わせて聞けばどの程度参加する見込みがあるのかも確認できると考えている。参加率の推測に基づいて規模を再計算することも検討している。また、施設使用延長の依頼も考慮する。

○森 望（社会学類）

予算についてお尋ねしたい。実施内容についてアンケートをとり反映させるということだが、アンケートの結果によっては予算を伴うアイデアもあると考えられる。その点はどう考えているか。

○林 凜太郎（議長）

現時点では予算計上の予定はない。そのため軽食の配布などは行わない。ただし、装飾(立て看板)などの必要最小限の経費は計上する必要があると思う。

○森 望（社会学類）

予算が必要になった場合、調達元はどこを考えているか。

○林 凜太郎（議長）

予算の調達元については支援室や生活課と話し合って決めることだと考えるため、現時点で明言することは難しい。

○菊田 一真（情報科学類）

現段階で計画を詰められていない点が多々見受けられるが、今回の本会議で議題を上げた理由を聞きたい。

○林 凜太郎（議長）

まず入学式を開催するとなると大学会館の予約が必要となるため、早い段階で申請のプロセスに入らなければならない。具体的に借用する用具等を決定するためにも、開催が確定するように本会議にかけた。また広報の観点から、入学式について全代会から発信したり他の団体に協力を依頼したりする場合、本会議を通さず外部に発信することは形式的にも適切ではない。入学式を開催するという全代会構成員の認識づくりも含めて今回の本会議に

かけた。

○**國崎 沙和子**（生物学類）

今年度の式典では、保護者や講堂に入れなかった方向けに YouTube 等の配信サービスを使うという配慮があったが、20 生入学式では保護者に向けた配信をする予定はあるか。学生のためのイベントであるから必要ないという認識か。

○**林 凜太郎**（議長）

具体化していないというのが率直な回答である。

学生による学生のための入学式という認識も正しいため、開催が決定した場合、参加者の要望を考慮していきたいと考えている

議決結果

採決結果は賛成 42、保留 6、反対 2、棄権 4 となった。よって、本議案は可決された。

以下、諸連絡

○**川島 淳一郎**（総務委員会）

全代会ジャケットの手洗いのため、総務委員各自がジャケットを持ち帰った。今週中には返却予定である。

PC 室の模様替えを行った。

第 5 回本会議の短報を作成した。

○**澁谷 耕大**（総務委員会情報部門）

esa アカデミックプランを更新した。

また、ネットワークの検討を行った。検討によってはネットワークの構造(IP アドレス)に変更が生じる。works などの利用にご不便をおかけすることがあるかもしれないがご了承願う。

○**竹之内 美来**（学内行事委員会）

承認を頂いた学園祭総括報告書は学園祭実行委員と修正や校閲を行い大学側に提出できるよう体裁を整えていきたい。

○**亀井 健多**（教育環境委員会）

授業評価サイト BRIDGE の作成を進めている。BRIDGE のアンケート第二弾を Teams のチャンネルに投稿したため今この場で学類に共有してほしい。

○宮田 青葉（生活環境委員会）

副学長懇談会で新宿舎についての提言を行った。今後は意見を集約していく予定である。新入生情報 Web を稼働させるため学生生活課と交渉を重ねている。

○會澤 颯太（調査委員会）

先々週に年内の活動を終えたため、今週は活動を行わなかった。今年最後の活動は虹の広場における異臭の調査であり、植物のにおいのため問題はないと判断した。

2024 年は 1 月 22 日から活動再開予定である。

○篠崎 健太（広報委員会）

Campus231 号の発行に向けて執筆を進めている。

SNS の使い方について以下のことを構成員にお願いしたい。まず、自分が個人で話したり投稿したりした内容が全代会という組織を代表した発言として捉えられる可能性があることを認識していただきたい。また、情報の取り扱いについても注意をお願いしたい。全代会が活動していく中で、一般には公開できないが全代会への信頼のもとで共有していただいている情報がある。学生生活課からの情報や esa の内容などの情報は外部に発信してもよい情報なのかを常に考えるようにしてほしい。

○吉川 柊（国際特別委員会委員長代理）

年内の活動を終えた。

留学生向けの新歓パンフレット、チューター制度の調査を引き続き行っている。

マレーシア研修関連については後程委員長の山口から連絡があると思われる。

○沼田 航（新入生歓迎特別委員会）

学生組織との面談を進めている。

1 月から新入生歓迎特別委員会の活動が本格的に動き出す予定である。

来年度の新歓担当者はほぼ全員と連絡がついた。連絡が取れていない学類については構成員各位を通じて連絡を図る。

○宮沢 純正（情報処理推進特別委員会）

東京キャンパスで行うショートプレゼンテーションイベントを実施し、20 名程度が参加した。

教育環境委員会の協力のもと、2025 年度に予定されている TWINS と KdB を改善するた

めの大学のプロジェクトにオブザーバーを派遣した。

zdk.tsukuba.ac.jp のアドレスの運用を始めた。各委員会にメールアドレスが割り当てられる予定である。

○林 凜太郎（議長）

試験期間中の招集に応じていただき感謝申し上げます。

今年度末に 20 生向けの入学式を開催するにあたり関連調査を開催するので、協力していただきたい。

また、2 点連絡がある。

1 点目は新設する目安箱についてである。Teams 上に目安箱フォームを設置したため、全代会に対する意見があったらここに書いていただけたら議長団や委員長陣で確認する。

2 点目は今後の予定についてである。次回の本会議は 1 月 24 日に、意見聴取会は 1 月 17 日に開催するので、予定の確保をお願いする。

○林 凜太郎（議長）

以上で散会とする。

散会

以上、総務委員会 浅野、木下 作成